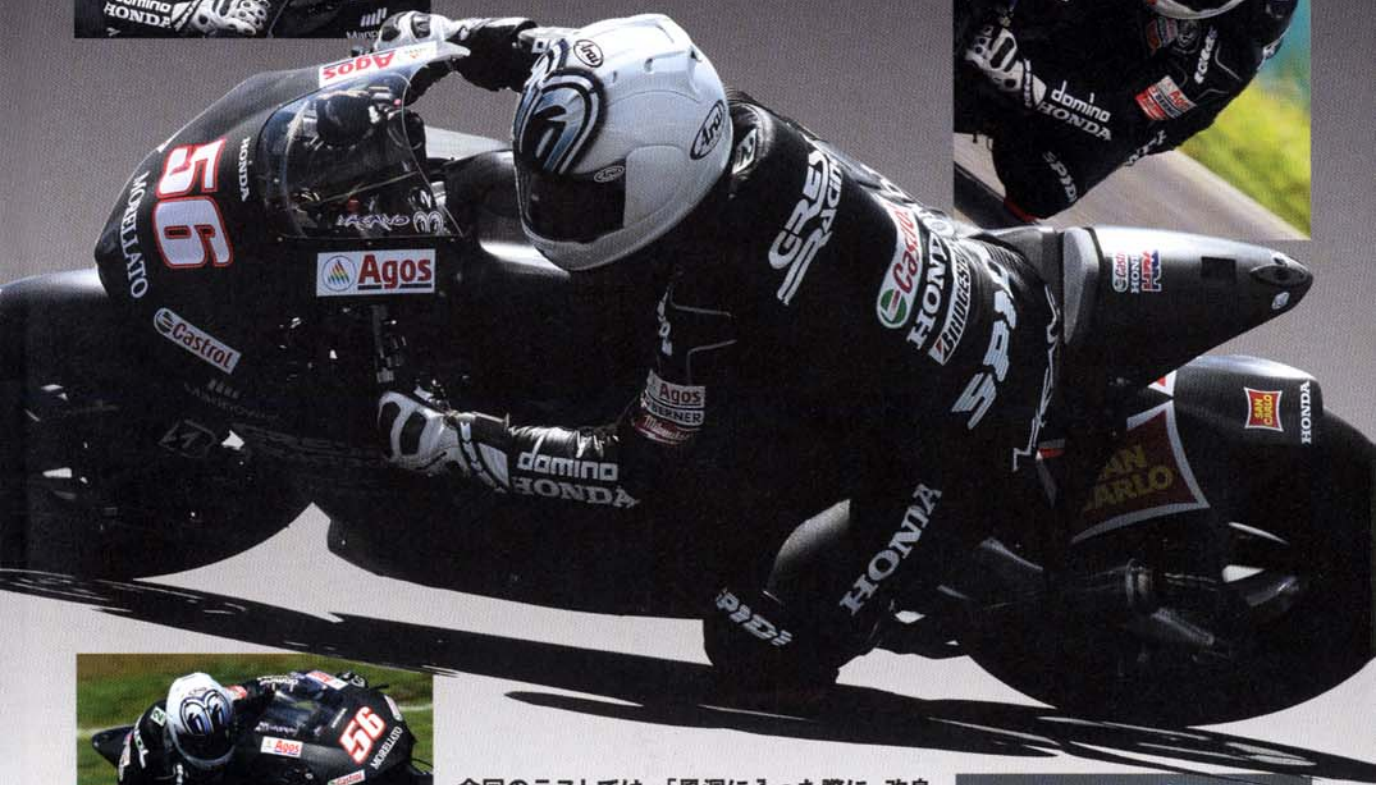


## 次期RX-7テスト最終段階へ



昨秋の東京モーターショーにおいて、コンセプトモデルとして発表した次期RX-7。最終タイプのテストを、中野真矢選手が行っています。次期RX-7のディフューザーに取り付けられたエアロフィン、最高速を稼ぎたいとの要望により、中野選手がマシンに跨った大型風洞の結果がヒントにより生まれたものです。



今回のテストでは、「風洞に入った際に、改良を重ねて最高速に結びつくだろうと言われた時と、同じ風の流れを背中に感じました。」とのコメントもいただいています。

次期RX-7。最後の調整を重ねて発売に備えています。いましばらくお待ちください。

Team San Carlo Honda Gresini

中野 真矢

トップスピードが300キロを超えるmotoGPの世界では、空気抵抗を減らしヘルメットのプレを少なくすることが課題でした。この新型には今までのレースで実戦テストをしてきたノウハウが注ぎ込まれていて、このヘルメットを試した時からその空力性能の違いをはっきりと感じました。

また可変式ディフューザーが、色々なジャンルのオートバイライダーの「セッティングをする」楽しみを与えてくれると思います。さらに視野も広がり視認性が向上し、僕が求めていた理想のヘルメットを手にすることができました。今シーズンはこの新型でmotoGP上位目指して頑張ります。

